

令和2年千葉市教育委員会会議
第11回定例会会議録

千葉市教育委員会

令和2年千葉市教育委員会会議第11回定例会会議録

日時 令和2年11月18日(水)

午後2時30分開会

午後3時00分閉会

場所 第一・第二会議室

出席委員	教	育	長	磯野	和美
	委		員	小西	朱見
	委		員	和田	麻理
	委		員	藤川	大祐
	委		員	竹田	賢
	委		員	高津	乙郎

出席職員	教	育	次	長	大野	和広	教育指導課長	鶴岡	克彦		
	教	育	総	務	部	長	松浦	良恵	教育支援課長	小田	將史
	学	校	教	育	部	長	山下	敦史	保健体育課長	阿部	健一郎
	生	涯	学	習	部	長	佐々木	敏春	教育センター所長	石川	英明
	中	央	図	書	館	長	安部	浩成	養護教育センター所長	千葉	直敏
	総	務	課	長	山口	美登里	生涯学習振興課長	中島	千恵		
	企	画	課	長	山崎	二郎	文化財課長	佐久間	仁央		
	教	育	職	員	課	長	吉田	悦子	学校施設課学校環境改善担当課長	石川	幸夫
	教	育	給	与	課	長	松永	信隆	生涯学習振興課統括管理主事	八斗	孝之
	学	校	施	設	課	長	森永	成	総務課課長補佐	志賀	二郎
	学	事	課	長	栗	和田	耕		総務課経理班主査	大友	美嗣
	教	育	改	革	推	進	課	長	片見	悟史	

書	記	総	務	課	総	務	班	主	査	金	井	昌	樹	総	務	課	主	任	主	事	安	藤	俊	介
														総	務	課	主	任	主	事	松	元	秀	之

- 1 開会
磯野教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
磯野教育長より高津委員を指名
- 4 会期の決定
令和2年11月18日（1日間）とすることで全委員異議なく決定
- 5 会議録の承認
令和2年第8回定例会及び第9回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 6 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 7 非公開審議の決定
議案第96号及び第97号を非公開審議とする旨決定
- 8 議事の概要
 - (1) 報告事項
報告事項(1) 令和3年度公立学校教員採用候補者選考（二次）受験状況について
吉田教育職員課長より報告があった。
報告事項(2) 千葉県科学フェスタ2020の実施について
八斗生涯学習振興課統括管理主事より報告があった。
 - (2) 議決事項
議案第95号 令和2年度末及び令和3年度公立学校教職員人事異動方針について
吉田教育職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
議案第96号 指定管理者の指定について
中島生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
議案第97号 令和2年度補正予算について（12月補正）
石川学校施設課担当課長、森永学校施設課長、中島生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(3) 発言の要旨

報告事項(1) 令和3年度公立学校教員採用候補者選考(二次)受験状況について

磯野教育長 それでは、報告事項に係る説明をお願いします。

報告事項(1)「令和3年度公立学校教員採用候補者選考(二次)受験状況について」、教育職員課長、説明をお願いします。

吉田教育職員課長 「令和3年度公立学校教員採用候補者選考(二次)受験状況について」のご報告をいたします。

1 ページをご覧ください。

8月下旬の2週間にわたり、教員採用選考の第二次選考を実施し、その結果につきましては、10月7日に本人宛て通知いたしました。また、千葉県教育委員会のホームページにおいても、合格者の受験番号を掲載しております。

二次の合格状況についてですが、全体で1,862人が合格し、倍率では3.0倍でした。これは、昨年度の3.3倍より0.3ポイント低くなっております。個々の学校種や教科ごとの合格者数や倍率につきましては、お手元にある資料でご確認をお願いします。

なお、本市における来年度の採用予定者数ですが、小学校70人、中学校59人、特別支援学校10人、養護教諭5人を予定しており、一人でも多くの優秀な人材を確保できるように努力して参りたいと考えております。

以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かございますか。

藤川委員 質問ではございませんが、倍率がかなり下がっているということで、危機意識を皆様と共有できたらと思います。

特に小学校の倍率が2.1倍ということで、このままいくと2倍を切るのではないかという状況かと思えます。

私が色々見聞きしているところでも、かなり学校の先生になることに対する不安を持っている教員免許の取得予定者が多いと感じております。ぜひ県と連携をして、PRもしなければいけないと思いますし、待遇改善が可能などころがあれば、改善を図っていくということが、目に見える形で必要ではないかと思えます。

特に新任の教員が4月1日に採用されて、すぐに一人前の教員として、すぐに子どもたちを迎えなければならないということ

への不安が強いことを感じておりますし、また、そもそも1年目の教員の負担を減らすような対応等が必要になってくるのではないかと思います。

ぜひ様々な方面から対応策についてご検討いただきまして、教員の成り手が足りないという事態は避けられるようにしていければと思いますので、よろしくをお願いします。

吉田教育職員課長 ご意見ありがとうございます。

千葉市の魅力の一つとして、働き方改革の取組みを積極的にアピールすることにより、将来の人材の確保にもしっかりと繋げていきたいと思います。ありがとうございました。

報告事項(2) 千葉市科学フェスタ2020の実施について

磯野教育長 次に報告事項(2)「千葉市科学フェスタ2020の実施について」、生涯学習振興課統括管理主事、説明をお願いします。

生涯学習振興課統括管理主事 報告事項(2)「千葉市科学フェスタ2020について」の報告です。

議案書の3ページと投影をご覧ください。

秋休みの10月10日(土)、11日(日)の2日間で、きぼーるにおいて開催いたしました。副題は「これからの私たち～花ひらきその先へ～」としています。昨年度は台風19号のため中止。そして、今年はコロナ禍での開催。実行委員会では、内容もさることながら、感染拡大を最大限に防止する方法について多くの時間を割きました。

今、映っている写真を見て、「あれ、結構密では」と思っている方もいらっしゃるかと思うのですが、この写真は、一昨年の「科学フェスタ2018」の1階アトリウムの様子です。感染拡大防止に最大限に努め、今年度はこのような写真になりました。少し寂しい気持ちもしますが、ウィズコロナ時代の一場面であろうと考えております。

具体的な感染拡大防止対策です。

各種体験については、1階は当日整理券、3階と7階から10階は事前予約といたしました。また、7階の千葉オンリーワン企業ブースについては、プレゼンのビデオを再生し、質問等はリモートで行えるようにしました。

また、閉幕式を取りやめ、開幕式のみとする縮小型式といたしました。開幕式では、教育長の挨拶及び開幕宣言、実行委員長挨拶

拶、千葉市長、千葉市科学アドバイザーの山崎 直子様及び日本科学未来館館長の毛利 衛様のビデオメッセージを会場に流しました。その後、総合展教育長賞、科学館賞の表彰を行いました。

主な企画としましては、1階アトリウムでは、スマートシティ推進課の強力な仲立ちもあり、千葉市×NTTによるスマートシティ構想を背景とした「ちょっと先の未来を体験してみよう」と称して、VRで野球の臨場感を体験したり、遠隔操作で離れた場所から移動や会話をロボットで体験したり、1人乗り次世代パーソナルモビリティによる自動運転など、私たちの暮らしを便利で豊かにするちょっと先の未来のテクノロジーを体験しました。

3階こども交流館アリーナでは、企業、市民団体、大学等の協力で、工作や観察など色々な科学体験ができるブースを展開しました。毎年恒例なものから、金属の特性に関するクイズを楽しみながら学べる新しいコンテンツなども、参加者は体験しました。

8階から10階、科学館各実験室では、「風力発電で電気をつくろう」など本格的な実験や、工作などの教室が展開されました。

7階企画展示室では、初日は市内児童・生徒による自由研究発表会、2日目は、千葉市及び周辺でユニークな技術、製品、取り組みを実施している企業が一堂に会してのビデオプレゼンテーション、さらにリモート対話を楽しめる「千葉オンリーワン企業と身近な科学」に10社が参加し開催しました。村田製作所チアリーダーショーが花を添えてくれました。

来場者数は、2日間合わせて4,081人でした。なお、平成30年は1万3,600人、令和元年度は台風で中止でした。

感染拡大防止が常となる今後は、単純に人数だけでは評価できないと考えております。

次に、来場者98人のアンケートによると、フェスタを知った理由の1番はチラシでした。以下、ポスター、市政だより、教育だよりと、やはり紙媒体が有効のようです。参加者は女性が、そして、圧倒的に千葉市からの参加が多く、参加経験の有無の割合はほぼ半分半分でした。世代別では小学生と40代の方が多く、一緒に来た人のデータからも、家族での参加が多いことが分かります。

今後の参加については、1人の「今後参加したくない」は気になりますが、97人は「今後も参加したい」、そして、印象に残った理由に、「面白かった」「大変楽しめた」と69人も答えて

くれたことはうれしい限りです。

最後に、振り返りです。

先程述べたとおり、感染拡大を最大限に防止することを考え、規模を縮小しての開催でした。参加者からは、コロナ対策がしつかりして安心して参加することができた、コロナ禍での科学フェスタ開催に感謝、等の意見を多数いただき、まずは開催できたことが大きな成果だと捉えております。

そして、例年とは違う参加方法を、チラシ、市政だより、ホームページ等で市民に周知を図り、大きな混乱もなく開催できたことも、成果の一つです。

課題としましては、この状態がまだ続くと想定できますので、次年度に向けウィズコロナでのよりよい千葉市科学フェスタの在り方を模索するとともに、来場者数以外の成果指標を設定、工夫することが必要であると認識しております。そうすることで、科学フェスタの質的な検証が可能になると考えております。

今回、10年という節目を迎えた科学フェスタですが、今後、次の10年を見定めた科学フェスタの在り方を模索していく所存でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かございますか。

和田委員 とても楽しく、違いの分かるプレゼンをしていただきまして、ありがとうございました。

意見ですけれども、2点あります。

一つは、やはり、アナログでの、チラシや市政だよりなどから知ったという方が今もとても多いのだなということを改めて実感しました。どうしてもホームページなどでPRをすると、より多くの人に見ていただいているのではないかと思いがちなのですが、やはり学校や地域を通じた紙媒体での宣伝ということ、確実にこれからも続けていただきたいなと強く思いました。

それから、もう一点は、やはり例年そうですけれども、家族での参加が多いというようなお話でした。どうしても、ご両親が科学に関心のあるご家庭の子どもたちが、こういったイベントに触れる機会が多いと思うのですけれども、そうではなくて、ご両親があまり積極的ではないという家庭の子どもの中にも、科学に夢を持っている子どもたちもいると思います。何度も申し上げていることですが、ぜひ地域などの青少年育成団体へ働きかけていただいて、子どもたちを、今、40人ま

とめて連れてくるということは少し難しい状況かと思えますけれども、保護者ではない大人たちに連れてきてもらえるような仕組みも、少し取り組んでいただけたらいいなと思えます。よろしく願いいたします。

八斗生涯学習振興課統括管理主事 ありがとうございます。アナログとデジタルのハイブリッド式で、そして、地域団体にも呼びかけて、科学の芽を広げていきたいと思えます。ありがとうございました。

議案第95号 令和2年度末及び令和3年度公立学校教職員人事異動方針について

磯野教育長 次に議決事項に係る審議に移ります。

議案第95号「令和2年度末及び令和3年度公立学校教職員人事異動方針について」、教育職員課長、説明をお願いします。

吉田教育職員課長 議案書6ページをご覧ください。

令和2年度末及び令和3年度公立学校教職員人事異動方針について説明させていただきます。

本件は、千葉市教育委員会組織規則第8条第4号の規定により議決を求めるものです。本年度の異動方針は、昨年度の異動方針から大きな変更点はございません。

人事異動は、学校組織の活性化を図るとともに、各学校における教育活動の一層の充実・発展を図るための基盤となる条件整備であると考えております。各学校や教職員の実情を十分に把握し、適正な配置に努めて参ります。

なお、今後の人事異動に係る日程について、収束しないコロナ禍の中、例年よりも日程を2週間早め作業をすることといたしましたので、併せて報告いたします。

以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かございますか。

ご質問ないようですので、議案第95号「令和2年度末及び令和3年度公立学校教職員人事異動方針について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決とします。

以上で公開審議案件に係る審議は終了しました。

委員の皆様、ここまででその他として何かご意見、ご質問等は何かございますか。

議案第96号 指定管理者の指定について

磯野教育長 次に、議案第96号「指定管理者の指定について」、生涯学習振興課長、説明をお願いします。

中島生涯学習振興課長 議案第96号「指定管理者の指定について」、千葉市生涯学習センターについてご説明をいたします。

議案書の9ページをお願いいたします。

本議案は、千葉市生涯学習センターの指定管理者に、「公益財団法人千葉市教育振興財団」を指定するよう市長に意見を申し出るため、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき議決を求めるものでございます。

お手元に配布しております別冊の参考資料に基づき説明させていただきます。

1 ページをお願いいたします。

「1 施設の名称及び所在地」、「2 指定管理者の名称等」につきましては、記載のとおりでございます。

「3 指定期間」につきましては、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間でございます。

「4 選定経過」についてですが、選定に当たりましては、本年7月及び10月の2回、教育委員会指定管理者選定評価委員会で審議が行われ、第2回選定評価委員会の結果に基づき、10月30日に答申があったものでございます。

「5 選定方法(非公募)及び選定の理由」ですが、まず、「(1) 非公募とした理由」につきましては、行政改革推進委員会「外郭団体の事務事業の見直し結果」において、生涯学習センターが提供する講座等は、地域の課題に自ら取り組むことができる人材の育成を目的とし、個人の趣味の範囲を超えた社会的ニーズ等に対応するものであり、高度の専門性及びボランティアや各種団体等との豊富なネットワークが必要であるため、外郭団体の有する特性や担うべき役割等を踏まえ、非公募にて千葉市教育振興財団を選定すべきとの方向性が示されたことによるものでございます。

次に、「(2) 選定理由」につきましては、選定評価委員会において、申請内容を、管理運営の基準で示している指定管理者が行う施設維持管理、生涯学習事業、施設運営等の業務内容及び水準に照らし審査した結果、教育振興財団は生涯学習センターの管

理を適切かつ確実に行うことができると認められたものでございます。

「6 選定評価委員会の答申の概要・審査結果」につきましては、記載のとおりですが、選定評価委員会の意見としまして、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じることはもとより、休館等により計画に大きな変更が見込まれる場合には、適宜計画の見直しを行うこと、自然災害が多発している昨今の状況を踏まえ、防災に関する講座の充実に努めることの2点が挙げられております。

「7 選定評価委員会の委員構成」につきましては、記載のとおりでございます。

「8 指定管理者の概要」についてですが、設立時期は平成7年4月、基本財産は2億1,500万円、従業員数は385人でございます。

主な事業内容及び主な施設管理の実績につきましては、記載のとおりでございます。

なお、3ページ以降に、指定管理者総合評価シートがございます。こちらは、平成28年度から令和元年度までの評価をまとめたものになります。詳細につきましては後ほどご確認いただきたいのですが、2点ほど説明させていただきます。

まず、3ページの「2 成果指標等の推移」ですが、成果指標、延べ受講者数、ボランティアコーディネーター件数、施設利用率ごとに、平成28年度から令和元年度までの4年間の推移の累計値をまとめたものでございます。いずれの項目も成果指標を超える実績・成果が認められます。

続きまして、5ページ、「4 管理運営状況の総合評価」ですが、市で出しております評価の目安という基準に基づきまして、評価項目ごと、評価対象期間における年度評価を、「A」、「B」、「C」、「D」、「E」の5段階で評価をしております。「C」は期待どおりの管理運営、「B」は優れた管理運営の評価となります。

また、その下にあります総合評価につきましても、評価対象期間における年度評価の総括評価、上の表になりますけれども、20%以上が「A」又は「B」、かつ「D」又は「E」がなかったため評価を「B」としており、指定管理者に求める水準を上回る管理運営が行われていたものでございます。

説明は以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かございますか。

ご質問もないようですので、それでは、議決に移ります。

議案第96号「指定管理者の指定について」を原案どおり可決
したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決とします。

議案第97号 令和2年度補正予算について(12月補正)

磯野教育長 議案第97号「令和2年度補正予算について」、初めに学校施設課担当課長、説明をお願いします。

石川学校施設課担当課長 議案書11ページをお願いいたします。

議案第97号「令和2年度補正予算について」、市長に意見を申し出るため、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき議決を求めるものでございます。

説明は、議案説明資料に基づき行います。

12ページをお願いいたします。

初めに、「1 学校施設の環境整備」に係る「(1) 国庫補助金の追加交付決定への対応」について説明いたします。

「ア 補正理由」ですが、国庫補助金の追加交付決定に伴い、学校施設の環境整備に係る経費を計上するとともに、事業完了予定が次年度となることから、併せて繰越明許費を追加するものでございます。

「イ 補正予算額」は39億3,300万円で、財源は記載のとおりでございます。

「ウ 補正内容」ですが、外壁改修工事が小学校6校、中学校3校の計9校、トイレ改修工事が小学校10校、中学校9校、高等学校1校の計20校でございます。

続いて、資料の13ページをお願いいたします。

次に、「(2) 大規模改造工事の工期延長に伴う対応」について説明いたします。

継続費の変更について、「ア 補正理由」ですが、新型コロナウイルス感染症対策により、本年4月中旬から5月末まで工事を休止した2校、上の台小学校と朝日ヶ丘小学校の2校につきまして、本年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度から2年度までの当該継続費を3年度までの3か年に変更するとともに

に、本年度の年割額の減額及び延期等に伴う総額の変更を行うものです。

「イ 補正内容」は記載のとおりでございます。

次に、繰越明許費の追加について説明いたします。

「ア 補正理由」ですが、上記2校の大規模改造工事の工期延長に伴い、本年度実施予定の備品等移動業務委託の一部を次年度に延期し実施するため、繰越明許費を追加するものでございます。

「イ 補正内容」は記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

磯野教育長 続いて、学校施設課長、説明をお願いします。

森永学校施設課長 次に、「学校施設の各種改修等」について説明いたします。

14ページをご覧ください。

まず、「1 上水道設備改修」に係る債務負担行為の設定についてでございます。

「ア 補正理由」ですが、来年度実施予定の本工事につきまして、夏休み期間に集中して作業を行わなければならないため、入札不調等契約手続に時間を要した場合でも適正な工期を確保できるよう、本年度内に前倒し発注する必要があることなどから、債務負担行為を設定するものです。限度額及び内容は記載のとおりとなっております。

「2 エレベータ設置」に係る債務負担行為の設定についてご説明いたします。

「ア 補正理由」ですが、エレベータ設置工事に係る実施設計、土質調査等業務について、本年度中に発注し、前倒しで契約を行うことにより、施工時期の平準化を図り、入札の不調・不落対策を講じるため、債務負担行為を設定するものです。限度額及び内容は記載のとおりです。

次に、繰越明許費の追加についてご説明いたします。

15ページをご覧ください。

「ア 補正理由」ですが、階段昇降に困難を伴う児童・生徒が在籍する学校のエレベータ設置工事について、本年度内の完了を予定しておりましたが、事業者がバリアフリー需要の高まりにより技術者等が不足し、新規工事を請け負うことができなくなったことなどの理由から入札不調が続き、本年度内に完了することができなくなったために、繰越明許費を追加するものでございます。金額及び内容は記載のとおりとなっております。

説明は以上でございます。

磯野教育長 続いて、生涯学習振興課長、説明をお願いいたします。

中島生涯学習振興課長 最後に、「生涯学習センターの債務負担行為」について説明いたします。

16ページをお願いいたします。

生涯学習センター施設管理運営につきまして、平成22年12月28日付け総務省自治行政局長通知の「指定管理期間が複数年度にわたり、指定管理者に対して委託料を支出することが確実に見込まれる場合には、債務負担行為を設定すること」を踏まえ、債務負担行為を設定するものでございます。

なお、設定期間は、令和3年度から令和7年度の5年間、限度額は28億2,900万円でございます。

説明は以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かございますか。

高津委員 12ページのトイレ改修工事について、時々私も学校に伺ったりするのですが、最近は本当にホテルに近い、きれいな明るいトイレが多くなっております。

今回、20校ということですが、今までこういう工事を合計何校ぐらいしてきたのか。また、これから先どのくらいあるのか等、教えてください。

石川学校施設課担当課長 これまで大規模改造工事等のトイレ改修工事で改修が終わっているのが、令和元年度末で46校でございます。そして、令和2年度の今、工事しているものがございまして、令和2年度の見込みですとこれが62校になります。令和3年度以降につきましては、残り84校の整備を進めていくということになります。

以上でございます。

磯野教育長 ほかはどうでしょうか。

和田委員 エレベータのことについて少しお伺いしたいのですが、議案とは関係ないことになってしまうのですが、設置するのに大体1基当たり5,000万円程と伺いましたが、今後、メンテナンス費用が大体どのくらいかかってくるのかお伺いします。

森永学校施設課長 エレベータのメンテナンス費用についてでございますが、今年度、全学校73台の定期点検費用は、総額1,079万6,000円です。1台当たり平均15万円程度となります。

また、このほかに、4件のエレベータの修繕を行いまして、415万2,000円を支出しております。

磯野教育長 ほかにご質問もないようですので、それでは、議決に移ります。
議案第97号「令和2年度補正予算について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決とします。

9 その他

(1)第12回定例会は、12月16日(水)午後2時より開催することと決定した。

10 閉会

磯野教育長より閉会を宣言